



みどり便り

第5号



発行年月:令和5年12月

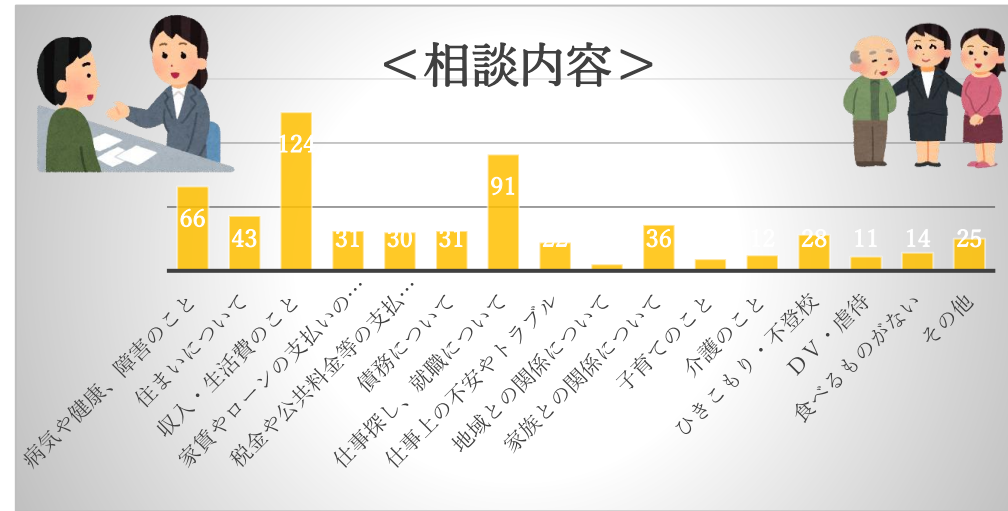
千葉市 生活自立・仕事相談センター緑

～ 令和5年度上半期事業概況 ～

1. 4月～9月までの相談状況

令和5年度上半期(4月～9月)の新規相談受付件数は261件となっており、月平均約43.5件の相談となりました。昨年度の同時期は240件弱であり、微増傾向からも地域の皆様の相談窓口として定着してきたように感じます。ワンストップの相談窓口として、相談者の方に寄り添った伴走型の支援を行っております。

主な相談内容は「収入・生活費のこと(47.5%)」と「仕事探し・就職(34.8%)」となっています。次いで「病気や健康、障害のこと(25.2%)」が多く、相談者の方の約4分の1が何かしらの病気や障害を抱えております。上半期の特徴としては、「ひきこもり・不登校」の相談が増えています。



半年間で昨年度とほぼ同数の数値となっており、約2倍の相談となりました。なかなかお話しにくいお困りごともあると思いますが、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。(長谷川 稔)



2. アウトリーチ支援の状況



保健福祉センターの各課の他、社会福祉協議会緑区事務所、あんしんケアセンター、ふるさとハローワークみどり、基幹相談支援センター、近隣の医療機関を対象として、関係機関への挨拶・周知活動を行いました。多職種連携による生活自立支援が必要なが浸透してきており、関係機関からの紹介が増えてきています。住民主催の出張相談会として、あすみが丘東自治会館「いきいきサロン」

ガーデンコート相談会チラシ

(4月)に参加しました。また、あすみが丘ガーデンコートでは住民の方からの要望で「いろいろなことでお困りのための相談会」(5月)を開催しました。来所者や住民への事業説明、周知活動を行いながら、個別相談を実施しました。

6月から9月にかけては、民生委員児童委員協議会の地区定例会(9地区)に参加し、地域での周知活動と支援対象者へのお知らせ、情報提供をお願いした他、公共施設、郵便局、コンビニ、スーパー、農協、パン屋、居宅介護支援事業所、自治会館などを訪問し、当相談センターの事業活動をお知らせしチラシの配架をお願いしました。連携機関からの紹介に加え、地区民児協委員からの問い合わせ、ホームページやチラシを見ての電話相談も増えてきています。(庄村 秀泰)



いきいきサロンに参加



- ① お湯を多めに沸かす。大きめのボールに、スライサーで千切りしたニンジン、キノコ、もやし、ニラを順番に載せて準備、お湯が沸いたら投入。2分ほど置いて湯切りし、塩、コショウ、ごま油、チキンスープの素で味付け。
- ② 豚小間はフライパンでいため、焼き肉のたれ、醤油で味付け。
- ③ どんぶりに、ごはん、①、②を載せ、お好みでキムチを載せて完成。（安部 いずみ）

～ 子どもナビゲーターの支援概況 ～

上半期の子ナビ新規相談は 27 件、前年度から継続支援しているお子さんを含めると 36 件支援させていただいています。お子さん単独というよりは、ひとり親家庭、保護者の方が何らかの障害を抱えている家庭で、家庭環境の中で生じている課題が多く、様々な関係機関と連携させていただいています。



また、地域の介護支援事業所と一緒に「ちいき茶屋くう」を共催し、周知活動に加え、支援中の家庭に楽しめる時間と居場所を提供する活動にも取り組んでいます。相談支援だけでなく、このような居場所の提供もしていきたいと考えております。（鳥海 みづえ）

～ 食料品・物資の提供活動について ～



「フードバンクちば」「フードバンクさんぶ」の協力を得て、生活に困窮している方々への食料支援を行っています。今年度（11月末現在）は相談業務の中で 107 件のご家庭への食料支援を実施しました。また、NPO 法人リンクの「地域をつなげる 3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動ほのん」との連携により、良質な家電や衣類の寄付を募り、必要な方に提供する活動にも取り組んでいます。食料品も家電も衣類も物価が上昇する中で、「生活の厳しさが増した」という多くのご家庭の声をお聞きし、寄付品の活用がそれぞれのご家庭への大事なサポートを担っていることを実感しています。持続可能な社会を目指す SDGs の観点からも、今後も積極的にフードバンク活動に取り組み、困っている方々のニーズに応えたいと考えています。そこで、今年もまた 12 月に「年越しフードパントリー（食品配布会）」を開催する予定です。数量限定（事前予約）となりますが、不安を感じながら年末年始を迎える方々に相談センター緑への相談につながって頂き、お役に立てる機会となればと願っています。（樫尾 則美）



昨年のフードパントリーの様子

生活の厳しさが増した」という多くのご家庭の声をお聞きし、寄付品の活用がそれぞれのご家庭への大事なサポートを担っていることを実感しています。持続可能な社会を目指す SDGs の観点からも、今後も積極的にフードバンク活動に取り組み、困っている方々のニーズに応えたいと考えています。そこで、今年もまた 12 月に「年越しフードパントリー（食品配布会）」を開催する予定です。数量限定（事前予約）となりますが、不安を感じながら年末年始を迎える方々に相談センター緑への相談につながって頂き、お役に立てる機会となればと願っています。（樫尾 則美）

● 新任職員紹介 ●

大橋 瑛（おおはし あきら）



8月1日付けで入職しました。出身は東京ですが就職を機に千葉へ来ました。前職は障害者福祉の分野で主に精神障がいをかかえている方の支援に携わっておりました。培った経験を活かしつつ、新たな学びを得ながら皆さんのお力になればと思います。どうぞよろしくお願い致します。

◇ 千葉市生活自立・仕事相談センター緑 ◇

◇ 千葉市緑区鎌取町 226-1 緑保健福祉センター2階 (Tel:043-293-1133, Fax:043-291-1899)

◇ e-mail: midori@npo-link.jp 編集：庄村秀泰 発行責任者：吉井 稔